

## ■ 掲示板

### ■ 独立行政法人理化学研究所 准主任研究員（定年制職員）公募について

独立行政法人理化学研究所では、以下の要領で准主任研究員を公募します。

1. 募集人数：1名
2. 募集分野：研究分野は特定しません。応募者自身の自由な発想に基づく学際的な研究分野を開拓していただきます。
3. 応募資格：長期的視野を持つ、次世代の科学技術分野を創成できる自律的研究者で、研究室を主宰するのに十分な能力と研究業績を有する方。
4. 研究資金、権限、責任の範囲：
  - (1) 研究室立ち上げのため、初動資金の2000万円（原則）が用意されています。
  - (2) 所内、所外のような競争的研究資金への応募が可能です。
  - (3) 任期制研究員の人事推薦、基礎科学特別研究員/ジュニアリサーチアソシエイトの受け入れ、物品購入、研究資金申請、研究スペース申請等の権限があります。
  - (4) 室員の服務管理、予算執行管理、物品使用管理等の責任があります。
  - (5) 定年制研究者の人事推薦権はありません。（既存の定年制研究者が移籍により室員となることは可）

その他の詳細は、<http://www.riken.jp/r-world/research/research/associate/index.html> をご覧下さい。

5. 待遇等：年俸制（報奨金制度有り）。

通勤、住宅手当の支給有り。社会保険の適用有り。理研共済会（互助組織）に入会（理研共済会規約による）。休日は、土日祝日、年末年始（12/29-1/3）、当研究所設立記念日。その他、当研究所規程による。

日本学生支援機構奨学金（平成15年度までに大学院第一種奨学生に採用されている場合）の返還特別免除の対象職。科学研究費補助金の申請資格有り。

6. 勤務形態：常勤、60歳定年。勤務地は原則として、和光研究所（埼玉県和光市）又は播磨研究所（兵庫県佐用郡）。
7. 着任時期：原則、2013年4月1日
8. 選考方法：書類審査による一次選考の後、2012年9月～10月に面接セミナーを行います。

選考結果は、可否に関わらず通知致します。審査内容、選考結果に関する個別の問合せはお受けできません。

9. 応募様式・その他：詳細はHPを参照して下さい。  
<http://www.riken.jp/r-world/research/research/associate/2013/index.html>

10. 応募締切：2012年6月22日（金）17時（日本時間）必着  
書類提出は郵送もしくは直接持参に限定。郵送の場合は必ず書留とする。E-mail、FAXでの申請の他、書類不備や締切後の申請は受け付けません。また、書類の返却はいたしません。

11. 書類提出・問合せ先：

〒351-0198 埼玉県和光市広沢 2-1（展示事務棟 3階）

鈹理化学研究所 基礎基盤研究推進部 研究業務課  
准主任研究員担当

E-mail: [riken-ac24@riken.jp](mailto:riken-ac24@riken.jp) 電話による問合せ不可

#### [個人情報取扱について]

提出頂いた書類は、独立行政法人理化学研究所個人情報保護規程に則り厳重に管理し、採用審査の用途に限り使用され、正当な理由なく第三者への開示、譲渡及び貸与することは一切ございません。

### ■ 兵庫県立大学高度産業科学技術研究所 准教授公募

公募人員：准教授 1名

所 属：光応用・先端技術大講座

専門分野：物性科学の専門性を有し、放射光施設「ニュースバル」を積極的に利用して、超高感度センシング機能の実現とそのシステム化に情熱を持って取り組める方。

応募資格：①博士号取得者、②大学・大学院教育、研究指導にも熱意のある方

着任時期：2012年10月1日

任 期：なし

提出書類：①履歴書（写真添付）、②研究業績の概要（1000字程度）、③研究業績リスト（査読付き論文、国際会議発表、解説・著書、受賞、特許、競争的資金獲得状況など）、④主要論文別刷り5編（コピー可）、⑤着任後の研究計画及び教育への抱負（各々2000字程度）、⑥本人について照会可能な方2名の氏名と連絡先（住所、TEL、e-mail）、⑦応募者の連絡先（住所、TEL、e-mail）

応募締切：2012年6月25日（月）消印有効

問合せ・先書類送付先：

〒678-1205 兵庫県赤穂郡上郡町光都 3-1-2

兵庫県立大学高度産業科学技術研究所課長 古賀仁美

※封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付のこと。

書類は返却しません。

TEL：0791-58-0249

### ■ 東京大学物性研究所教員公募について

下記により助教の公募をいたします。適任者の推薦、希望者の応募をお願いいたします。

1. 研究部門名等および公募人員数：

軌道放射物性研究施設 助教 1名

2. 研究内容：

本研究施設は、放射光施設 SPring-8 に建設した世界最高性能の軟 X 線発光分光装置を用いて、強相関物質・液体・触媒反応など幅広い電子物性の研究を行っている。本公募では、これまでの

研究分野を問わず、オリジナリティの高い最先端軟X線発光分光研究を現有スタッフとともに推進し、大学院生の指導も積極的に行う意欲的な研究者を希望する。

3. 応募資格：修士課程修了、またはこれと同等以上の能力を持つ方。

4. 任期：任期5年、再任可。ただし、1回を限度とする。

5. 公募締切：平成24年7月13日(金)必着

6. 着任時期：決定後なるべく早い時期

7. 提出書類：

(イ) 推薦の場合

○推薦書

○履歴書(略歴で可)

○業績リスト(特に重要な論文に○印をつけること)

○主要論文の別刷(3編程度、コピー可)

○研究業績の概要(2000字程度)

○研究計画書(2000字程度)

(ロ) 応募の場合

○履歴書(略歴で可)

○業績リスト(特に重要な論文に○印をつけること)

○主要論文の別刷(3編程度、コピー可)

○所属長・指導教員等による応募者本人についての意見書

(作成者から書類提出先へ直送)

○研究業績の概要(2000字程度)

○研究計画書(2000字程度)

8. 書類提出先：

〒277-8581 千葉県柏市柏の葉5丁目1番5号

東京大学物性研究所総務係

電話 04-7136-3207 e-mail [issp-somu@kj.u-tokyo.ac.jp](mailto:issp-somu@kj.u-tokyo.ac.jp)

9. 本件に関する問合せ先：

東京大学物性研究所軌道放射物性研究施設 准教授 原田慈久

電話 04-7136-3406 e-mail [harada@issp.u-tokyo.ac.jp](mailto:harada@issp.u-tokyo.ac.jp)

10. 注意事項：「軌道放射物性研究施設助教応募書類在中」、または「意見書在中」の旨を朱書し、郵送の場合は書留とすること。

11. 選考方法：東京大学物性研究所教授会にて審査決定いたします。ただし、適任者のない場合は、決定を保留いたします。

12. その他：お送りいただいた応募書類等は返却いたしませんので、ご了解の上お申込み下さい。また、履歴書は本応募の用途に限り使用し、個人情報とは正当な理由なく第三者への開示、譲渡及び貸与することは一切ありません。

### ■東京大学物性研究所教員公募について

下記により助教の公募をいたします。適任者の推薦、希望者の応募をお願いいたします。

1. 研究部門名等および公募人員数：

ナノスケール物性研究部門(小森研究室)助教1名

2. 研究内容：

本研究室では、固体表面およびその上に構築したナノメートルスケール構造の電子物性を、走査プローブ法・電子分光法などの実験手法を用いて研究している。本公募では、測定手法の開発やナノ構造の作製などを含め、表面科学に新たな領域を開拓し、大学院学生の指導も積極的に行う意欲のある若手研究者を希望する。

3. 応募資格：修士課程修了、またはこれと同等以上の能力を持つ方。

つ方。

4. 任期：任期5年、再任可。ただし、1回を限度とする。

5. 公募締切：平成24年7月27日(金)必着

6. 着任時期：決定後なるべく早い時期

7. 提出書類：

(イ) 推薦の場合

○推薦書

○履歴書(略歴で可)

○業績リスト(特に重要な論文に○印をつけること)

○主要論文の別刷(3編程度、コピー可)

○研究業績の概要(2000字程度)

○研究計画書(2000字程度)

(ロ) 応募の場合

○履歴書(略歴で可)

○業績リスト(特に重要な論文に○印をつけること)

○主要論文の別刷(3編程度、コピー可)

○所属長・指導教員等による応募者本人についての意見書

(作成者から書類提出先へ直送)

○研究業績の概要(2000字程度)

○研究計画書(2000字程度)

8. 書類提出先：

〒277-8581 千葉県柏市柏の葉5丁目1番5号

東京大学物性研究所総務係

電話 04-7136-3207 e-mail [issp-somu@kj.u-tokyo.ac.jp](mailto:issp-somu@kj.u-tokyo.ac.jp)

9. 本件に関する問合せ先：

東京大学物性研究所ナノスケール物性研究部門 教授 小森文夫

電話 04-7136-3310 e-mail [komori@issp.u-tokyo.ac.jp](mailto:komori@issp.u-tokyo.ac.jp)

10. 注意事項：「ナノスケール物性研究部門(小森研究室)助教応募書類在中」、または「意見書在中」の旨を朱書し、郵送の場合は書留とすること。

11. 選考方法：東京大学物性研究所教授会にて審査決定いたします。ただし、適任者のない場合は、決定を保留いたします。

12. その他：お送りいただいた応募書類等は返却いたしませんので、ご了解の上お申込み下さい。また、履歴書は本応募の用途に限り使用し、個人情報は正当な理由なく第三者への開示、譲渡及び貸与することは一切ありません。

### ■大阪府立大学「地域の大学からナノ科学・材料人材育成拠点」プログラム/テニュア・トラック教員(第六期)国際公募

1. 公募人員：特別講師(テニュア・トラック講師)2名

2. 教育・研究担当：大阪府立大学21世紀科学研究機構 ナノ科学・材料研究センター

所属：学術研究院 第4学群 戦略的研究部門

3. 専門分野：ナノ科学、ナノ材料に関わる幅広い研究分野から最先端研究に関する応募を想定。実験研究、理論研究は不問(詳細は公募要項参照のこと)。

4. 着任時期：2013年4月1日

5. 任期：5年(最終審査で適格と認められた場合は専任の准教授または教授へ昇任が可能)

6. 応募資格：2013年4月1日時点で、博士の学位を有し、大学における助教、博士研究員、あるいは同等職歴の経歴を3年

以上有し、学位取得後10年以内の者。2012年7月27日時点で40歳未満であること（詳細は以下10. URLを参照）。

7. 提出書類：○履歴書○研究業績リスト○これまでの研究概要○今後の研究計画など。

○推薦書または意見書5通は推薦者から直送のこと。様式は不問ですが、すべて英語で作成のこと。詳細は以下10. URLを参照。

8. 公募締切：2012年7月27日(金)

9. ①書類提出方法：WordまたはPDF形式で作成した応募資料を提出期限までに、本プログラムのホームページ<http://www.nanosq.21c.osakafu-u.ac.jp/>の電子応募欄より提出するとともに、資料原本を、「〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号 公立大学法人 大阪府立大学総務部総務人事課」宛に書留で郵送。詳細は下記10.のURLを参照のこと。

②問合せ先：下記10. URLの公募問合せ欄

③事務連絡先：大阪府立大学 総務部総務人事課  
e-mail : jinji2013@21c.osakafu-u.ac.jp

10. 本プログラムのURL

<http://www.nanosq.21c.osakafu-u.ac.jp/>

#### ■第14回（2012年度）サー・マーティン・ウッド賞 受賞候補者推薦要項

- 趣旨：凝縮系科学に係わる若手研究者に対して研究のインセンティブ、モチベーションを与えます。
- 対象分野：広い意味の凝縮系科学（例：凝縮系物理学、無機・有機固体化学、材料科学、表面・界面科学）

3. 候補者：日本における研究機関で、凝縮系科学における優れた業績をあげた40歳以下（2012年4月1日現在）の若手研究者。国籍は問わない。

4. 賞の内容：受賞は原則として毎年1件とし、受賞者には賞状、賞金50万円と英国のいくつかの大学への講演旅行の機会が与えられます。

5. 推薦依頼先：関係専門分野の有識者、関連諸学会

6. 推薦件数：各推薦者から一件とします。

7. 推薦方法：所定の推薦用紙に必要事項をご記入の上、下記事務局にお送り下さい。

自薦も受け付けております。自薦、他薦共に、候補者の業績内容を最も良く理解していると考えられ、当方より問い合わせ照会のできる2名の方（推薦者以外の方）の氏名、所属、肩書き、連絡先を記入して下さい。

8. 締切期日：2012年8月1日(水)必着

9. 選考：サー・マーティン・ウッド賞選考委員会にて審査、選考いたします。

10. 決定：2012年9月の予定です。

11. 賞の贈呈：2012年11月に英国大使館で行う予定です。

12. 推薦書提出先及び連絡先：

〒135-0047 東京都江東区富岡2-11-6

オックスフォード・インストゥルメンツ株式会社内

ミレニアム・サイエンス・フォーラム事務局

TEL : 03-5245-3871 FAX : 03-5245-4466

E-mail : msf@oxinst.com

<http://www.msforum.jp/>

## ■会告

#### ■日本放射光学会第94回評議員会議事録

日時：2012年4月14日(土) 14:00~16:00

場所：関西学院大学 東京丸の内キャンパス ランバスホール

出席者：足立純一、足立伸一、雨宮健太、大橋治彦、柿崎明人、加藤政博、河田 洋、木村 滋、坂田 誠、佐々木 聡、澤 博、竹田美和、野村昌治、初井宇記、平井康晴、宮原恒昱、百生 敦、横山利彦、若槻壮市(渉外幹事)、渡邊信久、木村洋昭(庶務幹事)、唯美津木(会計幹事)、玉作賢治(編集幹事)、松田 巖(行事幹事)、水木純一郎(会長)

欠席者：朝倉清高、籠島 靖、北村英男、木下豊彦、小林克己、大門 寛、高田昌樹、谷口雅樹、藤森 淳、柳下 明

事務局：佐藤亜己奈 (WORDS)、西野三和子 (WORDS)

#### 〈審議事項〉

##### 1. 特別賛助会員について

第25回総会において、評議員会の承認を持って改定を行うこととなっていた、特別賛助会員制定に関する定款第2章第6条の変更について、下記の通り提案があり、これを承認した。

(改訂前)	
定款第2章、第6条	<p>正会員は放射光学の分野に関して学識を有し、評議員会によってその入会が適当と認められた者とする。</p> <p>賛助会員は本会の目的に賛同し、その事業を援助する者または団体とする。</p> <p>購読会員は、本会の刊行する出版物の購読を希望する者または団体とする。</p> <p>シニア会員は、長年放射光学会正会員として放射光科学に貢献してきた定年退職者で、引き続き放射光の発展に貢献する意思があり、評議員会によって推薦され、総会によって決定された者とする。</p> <p>名誉会員は、放射光学の分野において顕著な功績を有する者で、評議員会によって推薦され、総会によって決定された者とする。</p>

(改訂後)	
定款 第2章、第6条	<p>正会員は放射光学の分野に関して学識を有し、評議員会によってその入会が適当と認められた者とする。</p> <p>特別賛助会員は、日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウムを共催し、かつ本会の目的に賛同してその事業を援助する団体とする。</p> <p>賛助会員は、本会の目的に賛同し、その事業を援助する者または団体とする。</p> <p>購読会員は、本会の刊行する出版物の購読を希望する者または団体とする。</p> <p>シニア会員は、長年放射光学会正会員として放射光科学に貢献してきた定年退職者で、引き続き放射光の発展に貢献する意思があり、評議員会によって推薦され、総会によって決定された者とする。</p> <p>名誉会員は、放射光学の分野において顕著な功績を有する者で、評議員会によって推薦され、総会によって決定された者とする。</p>

## 2. シニア会員について

第25回総会において、昨今の情勢に適合しないため継続審議となっていた、シニア会員の要件に関する第2章6条について、「65歳以上であること」、「20年以上継続して会員であること」、「本人に会員継続の意思があること」といった条件の案が提案された。この条件については承認し、文言は継続審議とした。

また、今後、条件の年齢や在籍年数に関しては、時代とともに変える必要があると想定され、その場合、評議員会の承認だけで条件を変えられる方が、迅速に対応できると考え、定款には「シニア会員は細則に定める条件を満たす者とする。」と記述し、細則に条件を記述することが提案された。これを承認し、次回総会に諮ることとした。

## 3. シニア会員推薦

シニア会員1名（神前 熙氏）の推薦があった。これを承認し、次回総会に諮ることとした。

## 4. 次期評議員選挙

木村庶務幹事より次期評議員選挙のスケジュール、依頼文について説明があり、これを承認した。

## 5. 第17回学会奨励賞公募

木村庶務幹事より第17回学会奨励賞の応募要綱について説明があり、これを承認した。

## 6. 次期評議員選挙について

木村庶務幹事より次期評議員選挙のスケジュールについて説明があり、これを承認した。

## 7. 第17回学会奨励賞公募

木村庶務幹事より第17回学会奨励賞の応募要綱について説明があり、これを承認した。

## 8. JSR12報告、JSR13準備状況

松田行事幹事より第25回年会・合同シンポ（JSR12）および市民公開講座の参加者数、収支などについて報告があった。また、2013年1月11日（金）-14日（月）に名古屋大学で開催予定の第25回年会・合同シンポ（JSR12）準備状況について報

告があった。

発表資格について、現在、年会・合同シンポでは日本放射光学会会員、または共催団体の会員・職員に発表資格があるが、共催団体であるPF懇談会、SPring-8利用者懇談会の改組に伴い、日本放射光学会に入会せずに共催団体会員として発表できる人数が増えることが考えられ、その対策案の1つとしてJSR13から発表資格を日本放射光学会会員に限ることを検討していたが、JSR13では現状のままとし、今後の展開を慎重に見守ることとなったことが報告された。

## 9. 第4回若手研究会の公募状況について

松田行事幹事より、第4回若手研究会の公募に対して3件の申請があり、2012年4月末にヒアリングを行う予定との報告があった。

## 10. 第4回放射光基礎講習会企画について

松田行事幹事より第4回放射光基礎講習会の企画案について説明があり、これを承認した。開催日は2012年8月3日（金）-4日（土）、場所は東京大学工学部52号講義室を予定。

## 11. 会員の入退会状況

木村庶務幹事より、第93回評議員会以降の入退会申請者に関して、入会：正会員11名（うち学生会員4名）の報告があり、これを承認した。退会に関して、退会：正会員33名（うち学生会員9名）を確認した。2012年4月14日現在の総会員数は1,315名（うち学生会員109名）、名誉会員5名、シニア会員5名、賛助会員46社（48口）。

## 12. 協賛・後援・共催について

本学会に対する協賛・後援・共催依頼について報告があり、協賛4件、後援3件、共催1件を承認した。

## <報告事項>

### 1. 2012年度会計中間報告

唯会計幹事より2012年度会計中間報告があった。また、3月末時点での会費未納者を確認した。

### 2. 特別委員会報告

水木会長より、昨年暮れに、東北地方国立7大学の研究者によってまとめられた「東日本放射光施設構想」が文部科学省に提出されたことを受けて、放射光科学の専門コミュニティとして、科学技術的見地から計画の妥当性を評価するとともに、施設の位置づけ・建設・運営・共同利用の観点からも評価し、提言としてまとめることをミッションにして、東日本放射光計画検討特別委員会を設置し、これまでに2回の委員会を開催したことが報告された。

「東日本放射光施設構想」以外の将来計画も検討するのであれば、特別委員会の名前を検討し直したほうが良いのではないかの意見があった。

### 3. 編集委員会報告

玉作編集幹事より、著者紹介に関して、著者が8名以上の場合、著者紹介は編集委員会判断で筆頭著者のみとする基準を設けたこと、試料環境シリーズ、学会誌電子化等について編集委員会での検討状況の報告があった。

また、学会誌2色化によりPDF版の重要度が増すことから、よりオンライン会誌を見やすくするため、現在紙面に記載されている記事閲覧用のパスワードを今後はメールで通知するとの報告があった。

4. 「放射光ビームライン光学技術入門」の増刷について  
玉作編集幹事より、「放射光ビームライン光学技術入門」の増刷に関して、講談社サイエンティフィックに出版検討を依頼していたが辞退の申し出があったことが報告された。以前の印刷所で印刷する方向で、そのまま増刷をするか一部改訂をするか、広告を改めて掲載するか等、検討をすることとした。
5. 男女共同参画学協会連絡会の要望書への賛同について  
男女共同参画学協会連絡会より「男女共同参画の加速に向けての要望」という要望書を3月中に政府に提出したいので賛同していただきたいとの依頼がオブザーバー学会である当学会にあった。  
会長・渉外幹事・庶務幹事で相談の上、要望書の内容は特に問題がないと判断し、当学会も賛同したとの報告があった。
6. 評議員会日程（予定）の確認  
第95回評議員会2012年7月7日(土)  
場所：理研東京事務所

## ■会員異動

第94回評議員会（2012年4月14日）で承認

### 《正会員入会》

山田 和芳 東北大学 金属材料研究所  
石渡 洋一 佐賀大学理工学部物理科学科  
田口 英信 田口電機工業㈱  
与儀 千尋 立命館大学 SR センター  
南 幸男 財団法人 高輝度光科学研究センター 利用研究  
促進部門  
野口 修治 静岡県立大学薬学部創剤科学分野  
岸本 浩通 住友ゴム工業㈱材料開発本部 材料第三部

以上 7 名

### 《学生会員入会》

倉地 克弥 名古屋大学大学院工学部  
金子 正樹 名古屋大学工学部物理工学科材料工学コース材料  
評価学講座 シンクロトロン光応用工学研究グ  
ループ  
伊藤 直樹 佐賀大学理工・物理  
脇本 佳季 東京大学

以上 4 名

### 《退会会員》

正会員24名，学生会員 9 名

### 《会員数》

会員1315名（内学生109名） 名誉会員 5 名 シニア会員 5 名  
賛助会員46社（48口）

## ■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2012年 7/4	The 4th International Workshop on the Dual Nature of f-electrons	じばさんセンター	新学術領域研究「重い電子系の形成と秩序化」 E-mail: fujimori@spring8.or.jp	25・2
7/6	日本真空学会関西支部 & 日本表面科学会 関西支部合同セミナー2012「生物に学ぶさまざまな機能—環境に調和した自然界の知恵—」	神戸大学百年記念館 六甲ホール	日本真空学会関西支部, 日本表面科学会 関西支部, 神戸大学研究基盤センター E-mail: saito@prec.eng.osaka-u.ac.jp	25・3
7/15-18	第12回 SPring-8 夏の学校—最先端の放射光科学を学ぶ—	SPring-8	⑧高輝度光科学研究センター, ⑧理化学研究所播磨研究所, ⑧日本原子力研究開発機構量子ビーム応用研究部門, 兵庫県立大学大学院物質理学研究科・生命理学研究科, 兵庫県立大学高度産業科学技術研究所, 関西学院大学大学院理工学研究科, 東京大学放射光連携研究機構, 岡山大学 E-mail: 2012summerschool@spring8.or.jp	25・2
9/3-7	19th WIEN2k WORKSHOP	早稲田大学理工学術院 早稲田キャンパス	ウィーン工科大学, 早稲田大学 E-mail: wien2k-ws2012@cms.sci.waseda.ac.jp	25・2
9/5-9/8	GOLD2012: The 6th International Conference on Gold Science, Technology and its Applications	京王プラザホテル東京	GOLD2012組織委員会 E-mail: goldcat@tmu.ac.jp	24・6
9/10-12	第15回 XAFS 討論会	白兎会館	日本 XAFS 研究会 E-mail: okmr@chem.tottori-u.ac.jp	25・3

本欄では、研究会、シンポジウム、国際会議等のおしらせを募集しております。掲載ご希望の方は事務局までご連絡下さい。一記事の長さは1/2ページ以下を目安とし、様式は事務局で変更させて頂く場合がございます。

### ■日本真空学会関西支部 & 日本表面科学会関西支部合同セミナー2012 「生物に学ぶさまざまな機能—環境に調和した自然界の知恵—」

近年、自然界の生物がもつさまざまな機能を科学の目で分析し、それを工学的に応用するバイオメティクスという分野が盛んに研究されるようになってきました。数十億年にわたる進化の過程で生物が獲得してきたさまざまな機能は、エネルギー消費が小さく、場所もとらず、安全で、環境に調和した理想的なシステムである場合が多く見られます。さらに、それらの多くは当学会で扱う表面・界面に深く関わる現象にもとづいており、また一方、きわめて多岐にわたります。本セミナーでは、生物に学ぶさまざまな機能を、地球環境をできる限り損なわずに人類の生活を豊かにするキーテクノロジーの礎と捉え、幅広い専門家に紹介・解説していただき、理解を促進することを目的といたします。

**主 催：**日本真空学会関西支部, 日本表面科学会関西支部, 神戸大学研究基盤センター

**協 賛：**日本放射光学会, 他

**日 時：**2012年7月6日(金) 13:00-17:00

**場 所：**神戸大学百年記念館 六甲ホール  
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

**参加費：**無料(定員:200名)

**申し込み締切り：**平成24年7月6日(金)

**申し込み方法：**

<http://www.vacuum-jp.org/>または<http://www.sssj.org/>よりリンクされた合同セミナーの案内ページ<http://www.sssj.org/Kansai/goudou120706.html>よりONLINE申し込みを推奨します。

電子メール, FAX, または官製ハガキによる場合は以下を記して問い合わせ先へお申し込み下さい。

(1)「2012合同セミナー申込み」, (2)氏名(ふりがな), (3)連絡先(勤務先または自宅住所(〒付記), Tel, Fax, 電子メール), (4)参加区分(日本真空学会会員, 日本表面科学会会員, その他の別)

尚, 神戸大学研究基盤センター機器分析部門見学を希望される場合は, その旨明記して下さい。

問合せ先 (担当幹事) :

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-1 大阪大学 齋藤 彰

Tel/FAX : 06-6879-7298

E-mail : saito@prec.eng.osaka-u.ac.jp

## ■第15回 XAFS 討論会

X線吸収微細構造 (XAFS) 及び関連現象に関する理論, 解析方法, 実験技術, 基礎及び応用研究に関する発表, 招待講演, 懇親会

主 催 : 日本 XAFS 研究会

協 賛 : 日本放射光学会, 他

日 時 : 2012年 9月10日(月)~9月12日(水)

場 所 : 白兔会館 (鳥取県鳥取市末広温泉町556)

発表申込締切 : 2012年 7月16日(月)

費 用 : 参加費3000円 (学生1000円)

参加申込方法 :

E-mail で 1) 題目, 2) 発表者氏名, 3) 所属, 4) 200字程度の概要, 5) 希望発表形式, 6) 申込者連絡先を明記の上, 下記宛にお申し込みください。

申込先 :

〒680-8552 鳥取市湖山町南 4-101

鳥取大学大学院工学研究科 奥村 和

Tel : 0857-31-5257, Fax : 0857-31-5684

E-mail : okmr@chem.tottori-u.ac.jp

詳 細 : <http://www.katalab.org/JXAFS15/index.html>

## ● 会誌オンライン利用方法に関するご案内 ●

編集委員長 玉作賢治

渉外幹事 若槻壮市

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックし、会員専用ページにアクセスする必要があります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID : jsr253

Password : bSniKta7

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、学会誌「放射光」のオンライン閲覧をクリックして頂ければ、オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等ございましたら、若槻 (soichi.wakatsuki@kek.jp) までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、玉作 (tamasaku@spring8.or.jp) までお願いします。